



冬の訪れと2学期のまとめ

校庭の木々が色づき、秋の深まりを感じさせてくれていましたが、急激に寒くなり、北風が一気にその葉を吹き飛ばし始めました。

毎年、北小のアベマキやイチョウから落ちる葉は大量です。しかし、始業前の時間にボランティアの子どもたち多数が、落ち葉に覆われた運動場や昇降口前のアスファルト部分を、きれいに掃いています。1年生から6年生まで協力して一生懸命取り組む姿はとても頼もしいです。

11月12日（火）からは北っ子タイムの時間にかけて足運動が始まりました。「がんばれ」などのかけ声が運動場に響きわたる心地よい時間の中で、いい汗を流す北っ子の姿を見ます。体力アップにもつながっていると期待しています。

これから、本格的な冬の訪れが感じられる北小の風景になります。2学期も残り4週間余り、学校では2学期のまとめに入ります。



刈谷市小中音楽会

11月9日（土）に刈谷市総合文化センターで行われた刈谷市小中音楽会に6年生の子どもたちが代表で出演し、合唱曲「野空海（のぞみ）」を美しく歌いました。9月の北っ子音楽会以降も練習に練習を重ね、美しさを追求した成果が存分に発揮されました。

翌週、給食時間にその様子が放映されましたが、多くの子どもたちが箸をとめ、6年生の合唱に聴き入っていました。



北っ子くんおもちゃランド

2年生の生活科の授業では「つくる楽しさ はっけんこそ～」と題して、身近な物でおもちゃ作りをしました。子どもたちが「博士」と呼んでいる大学生の方からアドバイスを受けたり、友達同士で話し合ったりして、素敵なおもちゃを作りました。

10月29日(火)には、1年生の子たちを招いて「北っ子くんおもちゃランドへようこそ」を開催しました。1年生の子に楽しんでもらえるように目を輝かせて取り組む姿がとても印象的でした。

～北っ子くんおもちゃランドへよう



社会見学

11月8日(金)に3年生は社会見学として、第2学校給食センターなど市内施設の見学に行きました。給食センターでは、栄養教諭の先生のお話を聞いたり、実際に調理しているところを窓越しに見学したりしました。子どもたちは一生懸命メモをすると同時に、800人分を一度に作れる釜の大きさや前日のメニュー「肉味噌ビビンバ」に使われた肉の量が200kgを超えることなどを知り、とても驚いていました。

時間の関係で、他の施設はバスからの見学となりましたが、社会の授業で学習した北部・中部・南部の特色や違いについて、実際に確認することができました。



竹切り・竹炭作り体験

11月16日(土)にPTA主催の竹切りの会がありました。デンソーのボランティアの方々やおやし・おふくろの会の方々の協力のもと、北っ子の森の竹を切り出しました。その竹を竹炭作り用に割って、束にしました。竹を切ったり、割ったり、節を取ったりするのは重労働ですが、大人の手も借りながらみんなでがんばることができました。

11月18日(月)には、5年生の子どもたちが竹炭作り体験をしました。渡邊一二三(いちふみ)さんを講師にお迎えし、多くの学校サポーターの方にも協力していただきました。竹切りの会で作った竹の束を窯に入れた後、火入れをしました。すばらしい竹炭ができているとよいです。環境保全のために行っているこの総合的な学習は、富士松北小ならではの伝統的な取組です。これからも続けていきたいです。

